

経営比較分析表（令和6年度決算）

宮城県 美里町

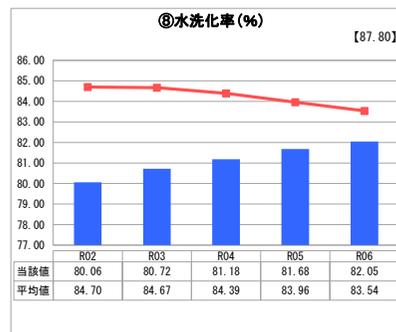
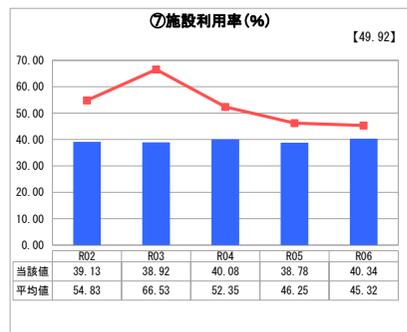
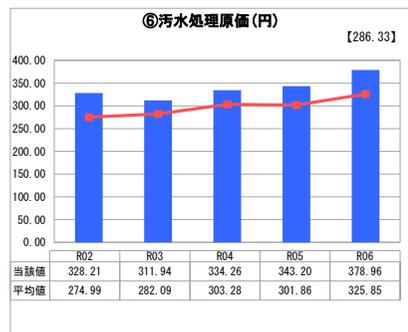
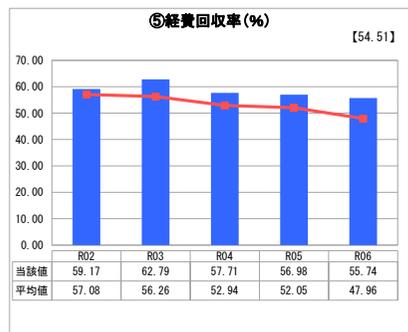
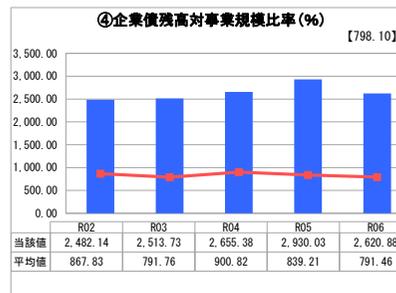
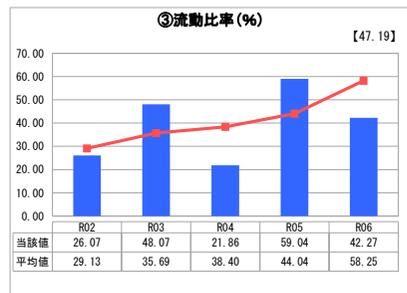
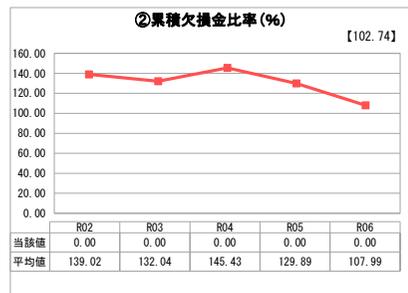
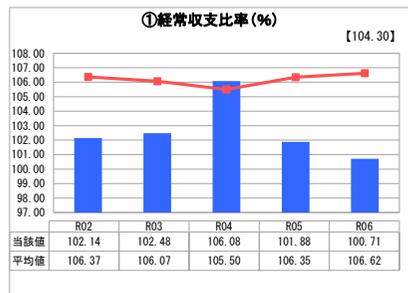
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	66.20	28.80	93.08	4,020

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
22,826	74.99	304.39
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,540	6.96	939.66

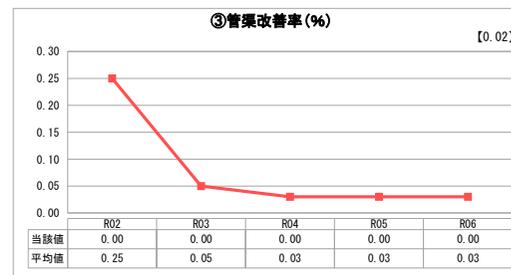
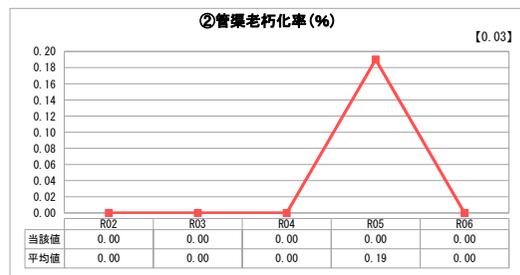
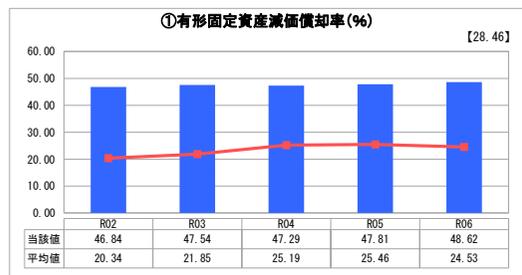
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

③流動比率について
令和5年度は前年度企業債の借入未済額の借入れの影響により、流動資産額が高くなったが、令和6年度はその影響はないことから、指標が前年度より低くなっている。また、類似団体の平均額より低い水準となっているが、今後の元金償還金は減少する見込みであることから、指標の改善が見込まれる。

④企業債残高対事業規模比率について
令和6年度に使用料を改定したことから、営業収益が増加したことにより、指標が改善している。今後は企業債残高が減少していくこと、令和8年度に2回目の使用料改定を予定していることから、今後も指標は改善していく見込みである。

⑤経費回収率について
令和6年度は使用料を改定したことにより、営業収益は改善したが、物価高騰の影響のほか、単年度要因としての調査費の増により、前年度より微減した。今後は令和8年度に2回目の使用料改定を予定していることから指標は改善していく見込みである。

⑥汚水処理原価について
類似団体平均値を上回っている。汚水の収集搬送は真空送流方式を採用しているため、自然流下方式に比べ、コストが高くなっている。また、物価高騰の影響により、指標が増加傾向にある。

⑦施設利用率について
類似団体平均値及び全国平均値を下回っている。処理区域の統合及び処理施設のダウンサイジングの検討を行う。

⑧水洗化率について
類似団体平均値及び全国平均を下回っている。未接続者に対し、さらなる普及促進により、指標の改善に努める。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率について
処理施設の機器が耐用年数を迎えるようとしているため、最適整備構想及び維持管理適正化計画に基づく機能強化事業により更新を行っている。今後も計画的に更新を行う。

全体総括

短期的な課題としては、経費回収率の向上が挙げられる。経費回収率については、令和8年度に2回目の使用料改定を予定していることから、指標の改善が見込める。
中長期的な課題としては、処理区域の統合及び処理施設のダウンサイジングが挙げられる。現在、最適整備構想及び維持管理適正化計画に基づく機能強化事業により、各処理施設のダウンサイジングを踏まえた機器の更新を行っている。併せて、処理施設の統合に向けた検討を行っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。